

クイズ! あだちのあゆみ-その1-

じょうもんじだい
縄文時代なかのころまで
あだちく
足立区は _____ にあった。

郷土博物館の資料で
一番古いものは、
クジラの骨らしい!

へいあんじだい
平安時代おの終わりごろ、武蔵国むさしのくに _____ 郡ぐんでは
あだちしいちぞく
足立氏一族だいかつやくが大活躍していた。

足立遠元は仕えていた源頼朝に働きをみとめられて、
鎌倉幕府の重要な役人になった人。

せんごくじだい
戦国時代ちばこれたねに千葉自胤がおさめていた
ふちえごう
淵江郷ちゅうしんの中心には、 _____ 城じょうと
しろ
よばれる城があった。

お城の存在は江戸時代には伝説となっていたけれど、
1996年に城が建っていた証拠が見つかったみたい。



クイズ! あだちのあゆみ-その2-

えどじだい とくがわいえやす めい
江戸時代に、徳川家康に命じられて

がわ さいしょ はし せんじゅおおはし
川の最初の橋として千住大橋がかけられた。

大名行列や旅人などたくさんの人が行き交うようになり交通の要所になった。

えどじだい まつおばしょう はいく つく たび
江戸時代、松尾芭蕉は俳句を作る旅に出る。

しゅっぱつち せんじゅ
出発地の千住で、

ゆくはる
「行春や」をよんだ。

↑ この俳句の旅をまとめた本が「おくの細道」

この時つけられた地名は、今の足立区の地名やバス停の名前にも残っている!

えどじだい あだちく とうぶ ひろ
江戸時代、足立区の東部に広がっていた

しっち うっ す ひとびと かいはつ
湿地に移り住んできた人々が開発して

う むら
生まれた村を、とよんだ。

えどじだい お めいじじだい
江戸時代の終わりと明治時代のはじめにかけて

かつやく しんせんぐみ あだちく きち
活躍した新撰組は、足立区のに基地を

つく
作っていた。

隊長の近藤勇と、副長の土方歳三も来ていたらしい!

クイズ! あだちのあゆみ-その3-

とうきょうふあだちぐん
東京府南足立郡とよばれていた足立区は、
ねん 1932年とうきょうしあだちくに東京市足立区になって、
とうきょうとあだちく
年に東京都足立区になった。

昭和時代に足立区の人口がとて多くなり、

ねん 1896年あだちくに足立区に
はじ初めててつどう鉄道が走り、
えき駅ができた。

田んぼや畑は住宅や工場に変わった。

はじめは蒸気機関車が

走っていたらしい!

何度も洪水を起こしていた
荒川(今の隅田川)の水を
へらすために、荒川を作ったよ。

あらかわほうすいろ
荒川放水路をつくる工事は、
ねん 年にはじめられ、
ねん 1930年かんせいに完成した。

めいじ 明治・たいしょうじだい 大正時代を代表する文豪 ぶんごう _____ は、
ねん 1881年から1889年ねんの間、
あだちく 足立区せんじゅの千住すに住んでいた。

南足立郡の医者だったお父さんが、千住に病院を開いていたみたい。